

★ 不断の安全追求から生まれる安心の獲得

私たちは関わりのあるすべての人たちに対して、さまざまな安全を提供し、どんなときも安心の評価をいただけるまちづくりを推進します。



衛生管理・水質管理

多くの飲食店にご出店いただいているイオンモールでは、食品衛生管理を最重要項目のひとつに位置づけ、お客さまの安全を確保するために独自の厳しいルールを定めています。また、排水基準を順守するためにすべての飲食店に定期的な厨房のグリストラップ清掃を義務づけ、油やゴミの流出防止に努めています。



防災協定の締結

国内の44モールでは、防災活動への協力などに関する協定書を地方行政と締結しています。万が一の際には核店舗のイオンが地域住民の方に生活物資を提供したり、緊急避難場所として駐車場を開放するなど、それぞれの地域の状況に合わせて、各モールが災害対策や避難の拠点として地域を支える体制を整えています。



防災訓練

多くのお客さまが館内集まるイオンモールでは、地震や火災に備えて、専門店のスタッフも参加して避難誘導や消火活動などの防災訓練を定期的に行っています。またモールによっては非常時に備えて飲料水、簡易トイレ、緊急避難用の大型テント「バルーンシェルター」などを備え、非常時には地域の防災拠点として機能します。



さらなる安全性強化の取り組み

昨年の東日本大震災では、19のモールで建物・設備の一部が損傷しました。その経験をもとに、震災後に最初にオープンしたイオンモール福津では、お客さまの安全・安心をより強固にするため、「災害に強い施設づくり」をめざすとともに、万一被災した際に、早期に地域の復興拠点施設のひとつとしての機能を回復することができるよう、耐震ならびに震災対策に取り組みました。



災害などで地域全体が停電になっても、非常用の水栓を取り付けることで受水槽内（有効容量300t）に貯水されている水を供給することができます。

耐震性能のさらなる強化

必要各所の天井について耐震性能をより高める工法を採用しました。また天井部・天井内に設置している設備機器についても耐震性能を高めています。建物最上部の吹き抜け天井は軽量な膜材を採用し、万が一の場合の安全性向上に努めています。受水槽についても、東日本大震災と同規模の地震に耐える耐震並びに耐久性を考慮したものを採用しました。



吹き抜け天井に張られた膜材

被災時の復興拠点としての機能確保

セキュリティシステムの電源や給水電源はもちろん、防災センターや運営管理事

務所などの主要な管理諸室への電源供給を最優先で確保し、地域の復興拠点のひとつとしての機能維持に努めます。また停電時には、非常用発電機と連動し、太陽光パネルで発電する電力を活用します。さらに敷地内の汚水



停電時にも活用できる太陽光発電

枡を災害専用蓋（仮設トイレ用汚水枡）に取替え可能としたほか、断水・停電状態でも、受水槽内（有効容量300t）の水を飲料用に利用できるように、受水槽に仮設給水口を設置しています。

すべての方が安心して来店できるモールへ

イオンモールに来店されるお客さまは乳幼児から高齢の方まで幅広く、ハンディキャップをお持ちの方、妊娠されている方、外国人の方もいらっしゃいます。あらゆるお客さまに安心して快適にお過ごしいただけるよう、当社は他の商業施設に先駆けて本格的なユニバーサルデザインを導入してきました。

また導入後も定期的にアンケートを行うなどしてお客さまからのご意見を伺い、ハード・ソフトの両面から継続的な改善に取り組んでいます。



どこからでも話しかけやすいインフォメーションカウンターとサインで館内をわかりやすくご案内。サインは専門家を交えて色、大きさ、配置を検証し、見やすさを徹底して追求しています。



メインフロアには、長く歩いても足が疲れにくい弾力のあるカーペットと、車椅子やベビーカーをご利用のお客さまが移動しやすいタイル床を並行して設置する例もあります。



トイレの快適さや使いやすさは特に重視しており、広く多機能な「みんなのトイレ」、お子さま専用で設計された「キッズトイレ」、オストメイト対応トイレなどが揃っています。



疲れたときに座れるベンチやソファを通路に多数配置。ご高齢の方やハンディキャップをお持ちの方の優先席も設けています。



駐車場に、身障者専用スペースを確保。専用のリモコンをお渡ししてご利用いただくなど、必要とされる方が確実に利用できる環境を整えています。